

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

1. 学校概要

学校名 宮城教育大学

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒980-0845

仙台市青葉区荒巻字青葉 149

E-mail：宮教@研究協力係 <kenkyo@adm.miyakyo-u.ac.jp>

Website：http://www.miyakyo-u.ac.jp/

児童生徒数 男子 名 女子 名 合計 1631 名
 児童・生徒の年齢 18 歳～ 歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

*ESD/ユネスコスクール東北コンソーシアムの活動を中心に報告いたします。

1. 国内外のユネスコスクールとの交流

a. ESD/ユネスコスクールのための情報提供

「ユネスコスクール通信」の発行を年に4回(季刊)程度発行するとともに、ホームページやパンフレットなど、あらゆる方法で、情報発信をはかるコンソーシアムメンバーの提供するリソースを紹介するなど積極的な情報提供を行った。

- ・ ユネスコスクール通信の発行を行った。(5回程度)
- ・ 東北ユネスコスクール実践事例集(前年度予算)の普及を図った。
- ・ ESD 地域コンソーシアム取組事例(ESD 円卓会議研修会等)の発信を行った。
- ・ ESD/ユネスコスクール東北コンソーシアムの構成員の活動内容をまとめたパンフレットを作成した。

b. ESD/ユネスコスクール東北コンソーシアムメンバーの構成団体によるリソース提供、研修会開催支援

ESD/ユネスコスクール東北コンソーシアムを通して、コンソーシアムメンバーが、学校や地域に赴いて、ESDの推進やユネスコスクール支援を行うことを支援した。コンソーシアムメンバーの持つ人的・物的リソースの活用を促進した、

- ・ 日本ユネスコ協会連盟、アクサ生命、京都大学、SEEDs Asia と気仙沼市教育委員会と連携し、全国の教員を対象に「防災・減災教育教員研修」を実施。
- ・ 9月に被災地で防災教育の理論研修、カリキュラム開発、授業見学(階上小)、学校視察(階上中)、被災地視察、教育長講演、N助、ワークショップ等を開催、2月に東京で報告会を実施。
- ・ 地域ユネスコ協会や、NPO、企業の持つ人的、物的なリソースの情報収集を行い、パンフレットを作成した。

c. 地域ユネスコスクール研修会の開催支援

気仙沼市で2回行われるユネスコスクール研修会と、1回行われるESD/RCE円卓会議を支援した。白石市のユネスコスクール研修会を支援した。福島県只見町のユネスコスクール研修会を支援する。その他、コンソーシアムの構成員が東北各地で開催するESD/ユネスコスクールに関連する研修会を支援した。

- ・ 気仙沼：ESD/ユネスコスクール研修会(6月、1月) ESD円卓会議(11月)、ESD免許更新講習(7月)
- ・ 只見：ESD授業研修会(5月、10月)、ユネスコスクール公開研究会(2月)
- ・ 大仙：ESD研修会(10月)
- ・ 白石：ESD免許更新講習(8月)
- ・ ユネスコスクール東北大会(10月30日)

d. 国内のユネスコスクールとの交流

各コンソーシアムが開催する研修会、ACCUや日本ユネスコ協会連盟などのアドバイザーが企画するESD/ユネスコスクール研修会に、東北地方の教員が参加できるようにした。また、他地域のユネスコスクールとの交流を支援した。さらに、宮城教育大学においてコンソーシアム成果発表会(12月~2月予定)を開催した。

大牟田市教育委員会コンソーシアムとの連携

- ・ ユネスコスクール・ESD研修会 in 大牟田 への講師派遣(8月27日)
- ・ 世界遺産学習サミットへの講師派遣(10月24日)
- ・ ユネスコスクール実践発表会への参加

奈良教育大学コンソーシアムとの連携

- ・ コンソーシアム ESD 研修会への講師派遣
- ・ コンソーシアム実践発表会への講師派遣
- 北陸コンソーシアムとの連携
- ・ 運営委員会・研修会への講師招聘
- ・ 気仙沼 ESD 円卓会議への講師招聘
- ・

e. 国外のユネスコスクールとの交流

ユネスコスクールであるウルスラ学園、仙台二華高校、富谷高校、多賀城高校（申請中）のグローバル人材育成を支援する。ICT を活用し、海外の ESD/ユネスコスクールとの交流を促進した。これまで交流のある韓国慶南ユネスコスクールネットワークや、中国持続可能な開発のための教育委員会（北京教育科学院）と連携して、教員の相互交流を開始した。

- ・ 仙台二華高校：SGH 評議会への貢献。高校生と大学生が交流
- ・ 富谷高校：6 月に校内研修、ハワイ大学と交流、アートマイル開始
- ・ 韓国慶南ユネスコスクールネットワーク（10 月来訪、白石市の中学校と交流）
- ・ 中国持続可能な開発のための教育委員会（北京教育科学院）2 月に来訪
- ・ フィリピンの防災教育へ貢献：JICA、SEEDs Asia と連携し、東北コンソーシアムの防災教育の理論と実践を踏まえ、フィリピンの防災教育のカリキュラム開発を支援。（11 月 3 日～10 日）
- ・ ミャンマーの教育への支援：JICA、SEEDs Asia と連携し、東北コンソーシアムの東日本大震災からの復興の経験を踏まえ、ミャンマーの教育復興カリキュラム開発を支援。（11 月 30 日）

2. ユネスコスクール以外の学校での ESD 活動の実施

a. ユネスコスクールのない地域へのユネスコスクール参加への呼びかけ

福島県只見町教育委員会、秋田県大仙市教育委員会、岩手県盛岡中央高校、青森県白神山財団など、コンソーシアムメンバーの団体の ESD/ユネスコスクール活動を支援するとともに、これらの団体を通して、福島県、秋田県、岩手県、青森県での ESD/ユネスコスクールへの普及を図った。その他各教育委員会学を訪問し、ESD の理念の紹介とユネスコスクールへの支援を呼びかけた

- ・ 青森県東通村立東通小学校がユネスコスクールに参加
- ・ 岩手県平泉町が全校でユネスコスクール加盟申請を準備中（東北コンソーシアム）
平泉小学校、長島小学校、平泉中学校
- ・ 宮城県富谷町が町全域でユネスコスクールに参加表明
富谷小学校、東向陽台小学校、富ヶ丘小学校、あけの平小学校、日吉台小学校◎
成田小学校、明石台小学校、成田東小学校、富谷中学校、富谷第二中学校
東向陽台中学校、日吉台中学校、成田中学校、富谷高校◎（◎はすでに加盟済み）

b. ESD をすでに行っている学校への情報提供

東北地方の自然環境に着目して、ESD の実践を行っている学校に情報提供を行い、ESD の理念の普及とコンソーシアムへの参加を呼び掛けた。

- ・ MS&AD インシュアランスグループホールディングス兼三井住友海上火災保険株式会社
大崎市教育委員会での実践「学ぼう！ラムサールサポーターズ」
6 月 29 日（月）大崎市立長岡小学校（3 年生、5 年生）
6 月 30 日（火）大崎市立宮沢小学校（5 年生）『大崎タイムズ』に掲載

3. 社会教育施設、青少年教育施設等との連携

本年度は、仙台市八木山動物公園と連携し、社会教育施設が、学校現場に向けて ESD につながるどのような実践を提供できるかについて検討した。八木山動物公園以外の社会教育施設との連携を進める。気仙沼市が行っている、公民館を活用した ESD の推進と学校との連携について調査した。仙台ユネスコ協会が計画している社会教育施設、青少年教育施設を活用した ESD に関する講習やワークショップの開催を支援した。

- ・ 教員免許更新講習（選択科目）2 科目の共同実施、絶滅危惧種の保全事業

環境学習イベントの共同実施、国際教育協力研究（マダガスカルのESD）の実施検討
動物展示教材の共同作成、ユネスコスクール郡山中学校と交流開始。

- ・仙台ユネスコ協会 宮城ユネスコ子どもキャンプ～東日本大震災復興支援キャンプ～開催テーマ「みらい探検隊」8月13日（木）～15日（土）2泊3日
オーエンス泉岳自然ふれあい館（仙台市泉区福岡）
参加者（小4から中3）56名 スタッフ（青年33名）
- ・その他機関との連携
平泉文化遺産センターと連携了承
仙台うみの杜水族館と連携協議

4. ESD/ユネスコスクール東北コンソーシアムの活動で得られた成果を地域の内外で共有するための「成果発表会」

2016年2月に、コンソーシアム運営委員会とコンソーシアムの成果発表会を開催した。コンソーシアムの機能を生かし、現在、ユネスコスクール（84）、教育委員会（9）、ユネスコ協会（8）、企業・産業団体（3）、仙台広域圏RCE（22）、社会教育施設等（2）、アドバイザー（3）の団体が、コンソーシアムに参画しているが、さらに多くの団体が参画するように努める。年度内に幹事会や部会を複数回開催する。

- ・コンソーシアム準備委員会（8月）運営委員会（10月）、総会（2月）を開催した。（以下はコンソーシアムメンバー名簿）

団体名	役職	代表者名
仙台広域圏ESD・RCE運営委員会	委員長	小金澤 孝 昭
国連大学サステイナビリティ高等研究所	所長	竹 本 和 彦
公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター	理事長	田 村 哲 夫
公益社団法人日本ユネスコ協会連盟	国内事業部主任	尼子 美博
福島県立安達高等学校	校長	渡 辺 昇
仙台市立郡山中学校	校長	高 橋 教 義
秋田県大仙市教育委員会	教育長	吉 川 正 一
気仙沼市教育委員会	教育長	白 幡 勝 美
仙台市建設局八木山動物公園	園長	大 内 利 勝
福島県只見町教育委員会	教育長	齋 藤 修 一
NPO法人環境会議所東北	代表理事	猪 股 宏
公益社団法人 仙台ユネスコ協会	会長	玉 懸 博 之
気仙沼ユネスコ協会	会長	佐 藤 春 子
アクサ生命保険株式会社	執行役・札幌本社長	小笠原 隆 裕
ユニグループ・ホールディングス株式会社	代表取締役	佐 古 則 男
気仙沼ESD/RCE推進委員会	委員長	阿 部 弘 康
大崎市教育委員会	教育長	青 沼 拓 夫
白石ユネスコ協会	会長	引 地 瑠美子
一般財団法人白神山地財団	理事長	渋 谷 拓 弥
宮城教育大学国際理解教育研究センター	教授	市 瀬 智 紀
宮城教育大学国際理解教育研究センター	ESDコーディネーター	及 川 幸 彦

5. 都道府県教育委員会との連携

宮城県では気仙沼市、白石市、大崎市、秋田県大仙市、福島県只見町においては教育委員会が、地域のESD関連団体と連携しながら、ユネスコスクールと連絡をとりあっている。そのほかの他の市町村においては、ユネスコスクールと教育委員会と連携が取れているとはいえない

ので。本プロジェクトでは、各県の教育委員会と連携を図りつつ前述の地域以外の東北地方の市町村においてユネスコスクールが各地方の市町村教育委員会の支援を得て活動できるように働きかけを行った。

- ・岩手県平泉町教育委員会を訪問、全校でユネスコスクール加盟申請を準備中
- ・宮城県富谷町教育委員会を訪問、町全域でユネスコスクールに参加表明

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）